

ルカによる福音書 14 章 26 節にある「。。。これを憎まないなら。。」とはどういうことでしょうか。

新共同訳の当該箇所は次のようになっています。

「もし、だれかがわたしのもとに来るとしても、父、母、妻、子供、兄弟、姉妹を、更に自分の命であろうとも、これを憎まないなら、わたしの弟子ではありえない。」

となっていますが、やや理解に苦しむ箇所です。すなわち、家族愛、隣人愛を説かれるイエス様の言葉と相矛盾するように思われるからです。

ネストレ・アーラント(27, 28 版)のギリシャ語原文でも以下太字の通り、「憎まないなら」となっています。キングジェームズや他の英語訳はほとんど同じ訳です。

「εἴ τις ἔρχεται πρὸς με καὶ οὐ μισεῖ τὸν πατέρα ἑαυτοῦ καὶ τὴν μητέρα καὶ τὴν γυναῖκα καὶ τὰ τέκνα καὶ τοὺς ἀδελφούς καὶ τὰς ἀδελφάς 」

そこで、いろいろな解説書を調べたところ、以下のような解説を見つけました。

「(イエスは「あなたの家族を憎め」とは言っていない。「私の方をもっと愛せ」と言っている。) イエスへの忠誠が意味することすべてを受け入れる覚悟がなければ、誰もイエスに従うことはできない。」

「カラー新聖書ガイドブック」いのちのことば社

この意味で、グッドニュース・バイブル--GNB--The Good News Bible: (TEV--Today's English Version) は以下のように、「彼ら(の家族)よりも私(イエス)をより多く愛さなければ」と上記解説書と同じ意味に訳しています。

Those who come to me cannot be my disciples **unless they love me more than** they love father and mother, wife and children, brothers and sisters, and themselves as well.

さらに、Amplified Bible(詳訳聖書)では

in the sense of indifference to or relative disregard for them in comparison with his attitude toward God (神(イエス)に向かって彼の態度と比較して、彼ら(父母を含む家族)のために無関心または相対的に無視するという意味で) と説明しており、まさにこの解釈を明らかにしているように思われます。

以上